



# 会員が地域づくりの手法・具体的な取り組みを学ぶ

## 「四街道市みんなで地域づくりセンター」を視察

「ふらっと」では、先進的な事例を学び、これからの活動の参考にするため、11月20日「四街道市みんなで地域づくりセンター」の視察研修を行いました。当日は、会員・事務局あわせて16名が参加して、地域との関わりや地域づくりコーディネーターの地域づくりの手法・具体的な取り組みを学びました。



(地域づくりコーディネーターから説明を聞く)

四街道市みんなで地域づくりセンターは、四街道市文化センターの1階にあり、事務室は20人が入れればいっぱいになるほど狭いスペースのところにあります。スタッフは、地域づくりコーディネーターが5名（ローテーションを組み活動）、NPOクラブ業務担当者が1名（ほかサポート体制数人）で、「地域づくり（地域課題の解決を図る取組み）」をサポートしていると話されました。

地域づくりコーディネーターは、特別な職種の経験者ではなく、主婦や料理学校の先生など「市民目線」に立った方で、常に「面白アンテナ」を張り巡らしている方



説明を聞く前にふらっとの活動を紹介

お願いして、地域とつながるため、常に市内外の団体とヒアリングを行い、地域の取り組みや課題を把握しています。大事なことは「何が地域に必要なこととされているか、何が面白いのか、何が人の共感を得られるか」を常に考えられることと話されました。

結論は、課題を解決し地域を良くするために、その時、必要な人（団体）が関わり、知恵を出し合って一緒に進めていくことで、「みんなが地域づくり感」を創り出せるようなセンターを心掛けていくそうです。

### 具体的な取り組みの一例は

#### 日替わりシェフの店「さくらそう」の営業のストーリー

「さくらそう」の営業は、地域づくりコーディネーターの「おいしい料理を食べてもらいたい」の一言で始まりました。地域づくりサロンで参加者を呼びかけ、先進事例や研究を行い有志による団体を立ち上げ、ミーティングや試食会を重ね研究しました。食材は地産地消を心がけ、空き家を利用し、居場所づくりをキーワードに、本格的に店舗づくりに向けた取り組みをし、呼びかけからわずか1年2ヶ月で、日替わりシェフの店「さくらそう」をオープンしました。

シェフは、毎回、素人の市民が交替で腕を振り、昼食を提供しています。店は市民が会員になり運営しており、シェフ希望者と会員を募集しているということです。

### 視察を終えて

富山地区には、区やボランティア団体・文化スポーツ団体・事業所などいろいろな団体があります。「ふらっと」が、それらの団体とうまく連携して、地域の課題を解決できるようになればと思っています。

# 若者の交流で地域を元気に

## 「よめこいツアー」を開催



(和やかな雰囲気で行われたよめこいツアー)

南房総市へ嫁来い実行委員会（渡辺大会長）主催の、婚活イベント「よめこいツアー」が10月26日に久枝区の民宿三富荘で開催されました。今回は市内の男性17名と、県内外から15名の女性が参加しました。

当日は、ケーキ作りを、参加男女が一緒にやって行うなど、初めて会った者同士とは思えないほど和やかな雰囲気で行われました。また、食事やケーキの材料には南房総地域で獲れた食材を使用するなど、地産地消にも努めていました。

今回のイベントで結果的には2組のカップルが誕生しました。実行委員会では、今回に限らず、多くの若者が交流する機会を作っていくことも話していました。

なお、「ふらっと」では、イベント当日の「おせっかい役」として協力し、参加女性へのフォローや話し相手などを行いました。終了後のアンケートでも「おせっかい役の女性が親しみやすかった」との声をいただきました。

### 私の考える地域づくり④



高崎 川崎順一郎さん

### 協力し合う心、助け合う心が大切です

私が考える地域づくりとは、隣近所が何でも話し合えて協力し合い、助け合うことが大切だと思っています。今は、核家族が増え若い世代は勤労者世代で、子どもは保育園や預かり保育等で家族以外、隣近所の人とはなかなか話す機会もなく一緒に何かを団体でやることもあまりないと思います。また、お年寄り世帯もたくさんあり高齢者により地域との交流が少なくなっています。ゆえに周りの人達あるいは地域との交流がなくなり地区行事等に参加しなくなっていくといった悪循環となってしまうのではないのでしょうか。それが

周りの人達と交流があれば、お互いに誘い合ったりして行事に参加することも可能になっていくと思います。私の住んでいる地区では昔は20数軒しかなかったのですが、今では他地区から移住された方々の方が多いです。地区の行事等を進めていくうえで色々な面で新しい考え方を取り入れて行くようになってきました。

元々地元にいる人たちは「昔からこうだったからこれでいいよ」といった考え方で済んでしまっていますが、新しい人たちは昔を知らないわけですからどのようにしていいかという地区はある程度意見がぶつかりますが、これも大切な事だと思っています。おかげさまで地区の皆さんは行事に参加してくれて、とってもよい雰囲気です。地区行事をこなすことができている。これも皆さんが協力し合っているからだと考えます。今の時代に合うものとは合わないもの、昔こうだったから今はこの方法がいいのでは？等々いろいろな考え方がありますが、協力し合う心、助け合う心があれば必ず何でも成功すると思えます。

### 平成26年12月の「ふらっと」会議・活動予定

- 運営委員会 12月18日（木）18時30分～
  - 岩井駅花壇清掃活動 12月25日（木）9時30分～
- 毎月いらい案内人の会と一緒にしています。